

総務 常任委員会

公共交通の利便性を向上させるため、循環バスに新ルート 運行開始する

「白河市部設置条例の一部を改正する条例」のほか議案13件が付託され、いずれも原案のとおり承認、可決されました。

● 議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算 (ゼロカーボンシティ推進事業)

市の公用車、脱炭素化に向け電動車4台を購入

Q | ゼロカーボンシティ推進事業、車両購入費677万円及び充電施設について

A | 令和5年度は市の公用車として4台の電動車の購入を予定しており、今後も社会情勢や費用対効果等を見極めながら、公用車両の更新を計画的に行ってまいります。また、現在、本庁に充電施設が2か所あるが、電動車の台数を踏まえながら、今後、増設等も検討していきたい。

● 議案第4号 白河市個人情報の保護に関する法律施行条例

個人情報保護審査会の構成メンバーは？

Q | 審査会の構成はどのようになっているのか。

A | 現委員は、学識経験者として市の顧問弁護士1名、市民代表として白河、表郷、東、大信地域から各1名ずつの計5名で構成されている。

● 議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算 (女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業)

女性に寄り添った多様な働き方を推進していきたい

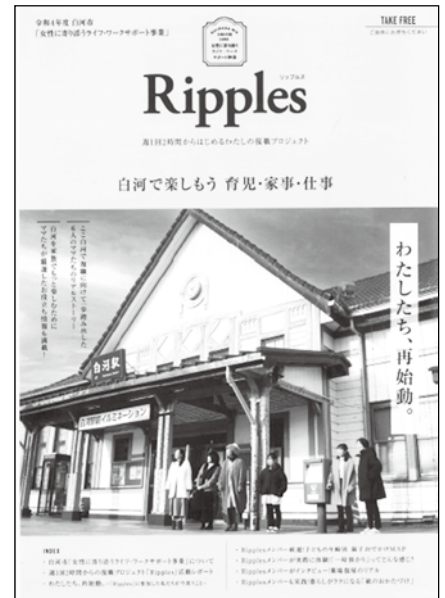
Q | 女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業、委託料1,278万3,000円の事業内容は？

A | 令和4年度に引き続き
①仕事と家事育児の両立を目指す女性を支援するためのセミナー・ワークショップの開催
②短時間勤務・ワークシェアリングの仕組みを取り入れた就労モデルの実証実験
③女性の雇用促進や多様な働き方を推進するための事業者向けセミナーなどを実施していく予定である。令和4年度は1日2時間程度の就業時間で、子育て中、女性が自ら企画立案、取材、編集に携わった「ママのための小冊子 リップルズ」を2,000部作成した。

● 議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算 (公共交通対策費) 循環バス、新たなルートとなる「西循環」を4/1から運行開始

Q | 公共交通対策費1億1,110万9,000円について

A | 平日、土曜日に左右3便ずつ新たに「西循環」の循環バスを4月から運行開始する。従って、新たにバス停を設ける場所は、薄葉、葉の木平、南真舟、真舟団地、二中入口、御台場、栄町、東大沼の8か所となる。詳しいルートや時刻は回覧板やバス停に設置する携帯用の時刻表にて周知する。



**白河市循環バス「こみねっと」
新ルート(西循環)運行開始!**

4月1日(土)から、真舟地区やR294白河バイパスを経由する
新ルート(西循環)の運行を開始しますので、ぜひご利用ください。

運行日 令和5年 **4月1日(土)** 運行開始
※12/29～1/3は運休
※月曜日～金曜日が祝日の場合は運休(土曜日と2月11日は運行)

運賃 大人(中学生以上) 200円
こども(小学生)、65歳以上、障がい者 100円 乳幼児 無料

運行ルート

食品ロスを防ぐマッチングサービスとは

「令和5年度白河市一般会計予算」のほか議案3件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第28号 令和4年度白河市一般会計補正予算（第13号）（環境衛生事業） ごみ袋配布対象世帯は

Q | 児童扶養手当受給世帯と生活保護受給世帯へのごみ袋の配布の実績は。

A | 1世帯につき20枚入りの小さいごみ袋3束を、それぞれ440世帯と302世帯に配付している。令和5年度からは、遺族年金を受給しているひとり親世帯へも配付する。

● 議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算（農業振興対策事業） スマート農業へ前年度と同額計上

Q | 営農の効率化や省力化を図るICT機器及びロボット技術導入を支援する「農業の未来をつくるスマート農業推進事業補助金」の予算額の推移は。

A | 事業を開始した令和元年度は800万円としていたが、スマート農業に対する需要が増加したことから、令和4年度から1,400万円に増額し、令和5年度についても同額で予算計上している。



● 議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算（環境保全促進事業） 手軽にSDGsの活動参加を実施

Q | 携帯電話を活用した、食品ロスを防ぐマッチングサービスの概要と対象の店舗は。

A | 協力店は食品ロスになりうる食品を安く出品でき、住民は安く食品を買うことができる県内初のサービスであり、協力店及び住民に登録料などの負担は求めない。対象店舗は市内のチェーン店や個人商店を想定している。



行政視察 1月16日から18日

佐賀県鹿島市「鹿島市新世紀センター」 (防災拠点施設)他

藤田文夫委員長、高島裕副委員長、水野谷正則委員

防災無線室や災害対策連絡室、備品倉庫など消防団の本部を備え、災害対策本部機能が充実し、災害時の安心確保に有効な施設。大雨や洪水等の各種気象警報発令時に、リアルタイムで河川監視できるモニターや気象庁のデータを確認できる防災情報伝達システム導入。ケーブルテレビを利用した河川監視カメラの映像は、市民がリアルタイムでその状況を確認し、早めの避難につなげることができる。

災害が激甚頻発化する現代において、同拠点は災害対策連絡室と本部の一体化、消防団と連携することで重要な役割を担っており、大いに参考になった。



子育て広場を設置し、子育て環境の充実をはかる

「白河市育英基金条例の一部を改正する条例」のほか議案13件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第8号 白河市育英基金条例の一部を改正する条例

「ガンバルしらかわ人奨学金事業」の給付型奨学金を3月末で終了

Q | 今後の育英基金の活用について

A | 令和2年度から国の奨学金制度が大幅に改正され、より充実した支給対象と支給額となった。これをうけ、今後は無利子貸与型の奨学金として育英基金を活用していく。

● 議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算（教育多忙化対策事業）

教育の質の維持向上を図るために

Q | 教員多忙化対策における「システム保守運用等委託料」の内容について

A | 教員の業務負担を軽減するため、小中学校での児童生徒の成績処理、出欠管理、指導要録等の校務情報の一元管理を行う『統合型校務支援システム』の保守運用に係る委託料である。

● 議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算（地域子育て支援拠点事業）

交流や仲間づくりができる子育て広場を設置

Q | 「地域子育て支援拠点事業」の委託先について

A | 乳幼児を持つ親と子が気軽に利用できる子育て広場を設置しており、令和4年度は、マイタウン白河と大信保健センターにおいて「NPO法人しらかわ市民活動支援会」が、サンフレッシュ白河と郭内地内において「NPO法人子育て環境を考える虹の会」が運営を行っている。令和5年度より新たに東地域に子育て広場を設置する。



現地調査 2月13日

園児送迎バスの安全管理

令和5年2月13日、園児送迎バスの運用実態調査で表郷幼稚園に伺いました。昨年は、全国でも相次いで置き去りによる事故が発生しましたが、白河市においてはチェック体制が幾重にもなされており、安全管理が徹底されていました。



最新技術を活用し、水道管路の劣化診断事業を実施

「白河市道路占用料徴収条例及び白河市都市公園条例の一部を改正する条例」のほか議案10件が付託され、いずれも原案のとおり可決されました。

● 議案第25号 令和5年度白河市水道事業会計予算 A Iによる管路劣化診断事業を実施

Q | 「A Iによる管路劣化診断事業」はどの管路が対象か、また「水道スマートメーターの実証試験」の実施時期は。

A | 管路劣化診断事業は市内の全管路を対象とする予定。実証試験は6月から実施予定。

● 議案第27号 令和5年度白河市下水道事業会計予算 市が設置した合併処理浄化槽は725基

Q | 市が設置した合併処理浄化槽の設置数は。

A | 令和4年度は36基設置予定。現在までに725基設置。

● 議案第28号 令和4年度白河市一般会計補正予算（第13号）（新婚新生活支援事業）

Q | 今年度の申請件数は。

A | 現在の実績は9件、相談中が4件で合計13件の見込みである。

● 議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算（中心市街地活性化事業） 子育て世代家賃補助は不動産業者の協力を得て広く周知

Q | 子育て世代賃貸住宅家賃補助金の金額とその期間は。

A | 補助の上限は、集合住宅の場合は月1万3,000円、戸建ての場合は月1万7,000円、期間は最長3年間。周知はホームページに掲載するだけでなく、不動産業者の協力を得て広く周知している。



● 議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算（街路事業） 公共駐車場の満空情報をネットで表示

Q | 街路事業費のシステム使用料108万円の内容は。

A | 城山公園駐車場、りぶらん駐車場、白河駅前イベント広場の3箇所の公共駐車場に車の出入りをカウントできるカメラを設置し、満空情報をホームページ等で、駐車場の地図と併せて表示する管理システムの使用料である。

現地調査 3月13日

西郷搦目線及び工業の森南線

令和5年3月13日、西郷搦目線及び市道認定された工業の森南線において、現状と課題について現地調査を行いました。

西郷搦目線の整備された区間は、着手から完成まで18年から20年を要した。また、未整備区間については「既存道路の拡幅ではなく、住宅が立ち並んだところに新たに道路を通すことになるため、多くの住宅の移転を伴う」という課題があることを確認し、住民の理解と協力を得ながら事業化に向け、一歩ずつ進めていくことが大事であることを認識しました。

また、工業の森南線は未整備の状態になっていて、市道認定がされてから交付金を活用して、道路が整備されることを確認しました。



西郷搦目線